

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 東海リース 株式会社  
 コード番号 9761 URL <http://www.tokai-lease.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理会計部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 三木 伸之  
 (氏名) 西 彰一

TEL 06-6352-0001

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,572	△22.0	118	△60.4	94	△62.6	48	△72.5
21年3月期第3四半期	9,704	—	298	—	251	—	174	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	1.38	—
21年3月期第3四半期	5.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	22,749	15,354	64.6	422.51
21年3月期	25,837	15,683	58.0	430.82

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 14,705百万円 21年3月期 14,997百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	△7.9	380	△12.4	310	△19.1	290	72.1	8.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	34,943,225株	21年3月期	34,943,225株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	138,414株	21年3月期	132,590株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	34,806,472株	21年3月期第3四半期	34,820,702株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注意事項等につきましては、3ページ「[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しつつありますが、外需依存の状況には変わりなく、円高による後退も懸念されています。また、内需は相変わらず低迷を続けており、政策の不透明さも相まって、出口の見えない状態が続いています。

また、当社グループを取り巻く環境にいたしましても、景気の後退や企業収益の低迷により、民間設備投資や個人消費は最悪の時期は脱したものの、停滞したまま依然として厳しい環境下にあります。

このような状況において当社グループは、営業活動の充実を図り、新規顧客の開拓や既存のお得意様との一層の密着に努めましたが、売上高は低調なまま推移いたしました。また、利益面におきましても外注費の低減や経費削減に注力してまいりましたが、売上高の落ち込みによる利益の減少をカバーするまでには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,572百万円(前年同期比22.0%減)、営業利益は118百万円(前年同期比60.4%減)、経常利益は94百万円(前年同期比62.6%減)、となりました。また、特別損失に投資有価証券評価損24百万円を計上した等により、四半期純利益は48百万円(前年同期比72.5%減)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より3,087百万円減少し、22,749百万円となりました。理由の主なものは現金及び預金の減少1,389百万円、及び受取手形及び売掛金の減少1,235百万円であります。

## (2) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より2,758百万円減少し、7,395百万円となりました。理由の主なものは支払手形及び買掛金の減少820百万円、及び借入金(長期・短期含む)の減少1,015百万円であります。

## (3) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より329百万円減少し、15,354百万円となりました。理由の主なものは配当金の支払い等による利益剰余金の減少300百万円であります。

## (4) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、366百万円の収入となり、前年同期に比べ204百万円収入が減少いたしました。主な理由は、仕入債務の減少額が875百万円増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは346百万円の支出となり、前年同期に比べ271百万円支出が減少いたしました。主な理由は、リース資産取得による支出が210百万円減少したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,409百万円の支出となり、前年同期に比べ863百万円支出が増加いたしました。主な理由は、短期借入金の純増減額が515百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より1,389百万円減少し、1,094百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績見通しにつきましては、厳しい経営環境下ではありますが当第3四半期会計期間の契約高及び期末契約残高は持ち直しの兆しが見られ、学校等の耐震化への建て替え需要は堅調であり、また政府の追加景気対策への期待もあり、現時点におきましては据え置きとし、平成21年10月16日に修正発表しました業績予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、現時点の予想と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,375	2,764
受取手形及び売掛金	7,044	8,280
商品及び製品	131	125
仕掛品	8	24
原材料及び貯蔵品	264	311
その他	258	294
貸倒引当金	△60	△73
流動資産合計	9,024	11,726
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産（純額）	4,803	5,003
建物及び構築物（純額）	2,615	2,720
土地	4,982	4,981
リース資産（純額）	565	595
その他（純額）	136	149
有形固定資産合計	13,103	13,450
無形固定資産	241	248
投資その他の資産		
投資有価証券	103	101
その他	259	286
投資その他の資産合計	363	388
固定資産合計	13,708	14,086
繰延資産	17	23
資産合計	22,749	25,837

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,567	2,388
短期借入金	615	1,289
1年内償還予定の社債	500	—
リース債務	120	116
未払法人税等	38	60
前受リース収益	1,791	2,371
賞与引当金	38	186
役員賞与引当金	4	16
設備関係支払手形	21	19
その他	524	502
流動負債合計	5,222	6,950
固定負債		
社債	800	1,300
長期借入金	265	606
リース債務	387	469
繰延税金負債	65	56
退職給付引当金	562	489
役員退職慰労引当金	92	282
固定負債合計	2,172	3,203
負債合計	7,395	10,153
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,032	8,032
資本剰余金	5,811	5,811
利益剰余金	1,179	1,479
自己株式	△25	△24
株主資本合計	14,998	15,299
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	△10
為替換算調整勘定	△302	△291
評価・換算差額等合計	△293	△302
少数株主持分	648	686
純資産合計	15,354	15,683
負債純資産合計	22,749	25,837

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	9,704	7,572
売上原価	7,366	5,668
売上総利益	2,338	1,904
販売費及び一般管理費	2,039	1,786
営業利益	298	118
営業外収益		
受取利息	8	5
スクラップ売却益	10	5
負ののれん償却額	—	26
その他	15	17
営業外収益合計	34	55
営業外費用		
支払利息	65	61
その他	15	18
営業外費用合計	81	79
経常利益	251	94
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	—	5
役員退職慰労引当金戻入額	—	1
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	2	3
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	26	24
役員退職慰労金	20	—
特別損失合計	49	28
税金等調整前四半期純利益	201	72
法人税、住民税及び事業税	39	30
法人税等調整額	6	2
法人税等合計	46	32
少数株主損失(△)	△19	△7
四半期純利益	174	48

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	201	72
減価償却費	685	672
負ののれん償却額	—	△26
有形固定資産除却損	2	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△111	△147
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44	73
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	△189
受取利息及び受取配当金	△11	△7
支払利息	65	61
リース用資産の中古販売による売上原価	56	35
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	26	24
為替差損益 (△は益)	△3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△80	1,239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△175	55
その他の資産の増減額 (△は増加)	19	35
仕入債務の増減額 (△は減少)	80	△795
前受リース収益の増減額 (△は減少)	△106	△579
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2	△36
その他	△0	△1
小計	682	465
利息及び配当金の受取額	10	7
利息の支払額	△67	△61
法人税等の支払額	△55	△44
営業活動によるキャッシュ・フロー	571	366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△146	△178
定期預金の払戻による収入	146	202
リース用資産取得による支出	△553	△343
社用資産の取得による支出	△74	△35
社用資産の売却による収入	1	2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社株式の取得による支出	—	△1
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	9	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△617	△346



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	321	△193
長期借入れによる収入	210	50
長期借入金の返済による支出	△766	△873
リース債務の返済による支出	—	△87
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△297	△296
少数株主への配当金の支払額	△11	△7
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△545	△1,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△595	△1,389
現金及び現金同等物の期首残高	2,095	2,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,500	1,094

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当社の企業集団は仮設建物、ユニットハウス及びこれらに付随する什器備品類等のリース及び販売という単一の事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が 90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

海外売上高が、連結売上高の 10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第 3 四半期連結累計期間における生産実績は次のとおりであります。

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日) (単位：百万円)

事業の種類	金額	前年同四半期比(%)
仮設建物部材等の製造	494	113.7
合計	494	113.7

(注) 1 上記金額は、主にリース用資産の製造高であります。  
2 記載金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第 3 四半期連結累計期間における受注状況は次のとおりであります。

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日) (単位：百万円)

期首 契約残高	四半期中契約高		四半期中契約実行高		四半期末契約残高		四半期末契約残高 のうちリース期間 未経過契約高
	金額	前年同 四半期比(%)	金額	前年同 四半期比(%)	金額	前年同 四半期比(%)	
3,806 (1,434)	7,583	75.5	7,572	78.0	3,816 (2,025)	90.6	1,791

(注) 1 ( ) 内の数字は内数で、工事未着手の契約高であります。  
2 記載金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第 3 四半期連結累計期間における販売実績は次のとおりであります。

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日) (単位：百万円)

区分	金額	構成比 (%)	前年同四半期期比 (%)
仮設建物部門	4,381	57.9	74.6
什器備品部門	2,062	27.2	81.3
ユニットハウス部門	1,128	14.9	87.0
合計	7,572	100.0	78.0